



内科診療について

内科の高度化・専門化が進んだ現在では、多数の疾患を持つ患者さんに対して、各医師が自分の専門領域のみを診察する傾向になりがちです。

そのため、患者さんは一般的な疾患なのに、各領域の内科専門医を受診しなければならぬ状態でした。

本来内科医とは、専門医である以前に、内科全領域の基本的な知識と経験を持つ医師であり、一般的な疾患に関しては診察・治療を行うものです。

このことを踏まえ、当院は専門領域の疾患のみではなく、総合性と専門性を融合させた、内科全般にわたる幅広い診療を行うことを基本方針としました。

当院の常勤医師の専門は、消化器、代謝内分泌、血液、総合診療、腎臓・透析、神経、循環器であり、非常勤医師は、呼吸器、膠原病（こうげんびょう）が含まれます。

専門領域を持つ常勤内科医師13人が相互に協力するとともに、大学病



上段左から…小松憲一（こまつけんいち）／内科部長、保坂孝史（ほさかたかし）／内科医員、大窪勝一朗（おおくぼかついちろう）／内科部長、山口祐司（やまぐちゆうじ）／内科医員
下段左から…田邊義博（たなべよしひろ）／病院長補佐、梶井英治（かじいひょうじ）／病院長、岩淵聡（いわぶちさとし）／副病院長、佐久間亜季（さくまあき）／内科医員

院などから派遣された非常勤医師と協力することで、総合性と専門性を融合させた幅広い診療が行えるようになっていきます。

さらに、高次医療機関への紹介が必要な場合は、筑波大学附属病院、自治医科大学附属病院、筑波メディカルセンター病院などと緊密な連携をとっています。

今後さらに医師の充実を図り、現在の内科診療の基本方針をすすめていきます。

教えて！西部メディカルセンター

市民のみなさんから救急科についての疑問・質問にお答えします。

Q.1 救急科とはどんなもの？

A. 病気・けが・やけど・中毒など急病の患者を診療し、重症な場合は救命救急処置、集中治療を行うことを専門としている科です。当院では、救急科で初期治療を行い、その後は入院が必要な患者は全て担当科に振り分けるとい、ER方式を取り入れています。救急科と院内各科とが協力し合い、病院全体で救急患者を診療します。

Q.2 救急科にかかりたいときはどうしたらいいの？

A. <日中>

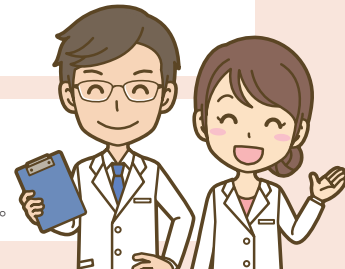
電話連絡後、正面入口から入り、総合案内に声かけください。はじめに看護師によるトリアージ（治療の優先順位を決める）を行い、一般外来又は救急科外来へ引継ぎします。

<夜間・休日>

電話連絡後、北側救急入口から直接救急科へ来院ください。トリアージ後、診療を行います。会計は預かり金（クレジットカード利用不可）をいただき、精算は後日になります。また受診には選定療養費（2,000円＋税）が別途かかる場合があります。

Q.3 西部メディカルセンターの救急科の体制は？

A. 当院の救急は365日24時間体制で受け入れをしています。昼間は救急科の医師2人で対応しており、夜間は医師2人で対応しています。症状によって受け入れできない場合もあります。



お知らせ

毎月第一木曜日に道の駅グランテラス筑西で「まちの保健室」を行っています
西部メディカルセンターの看護師2人がみなさんの健康相談に無料でお答えします。

11月の開催日 11月7日（木）午後1時～3時30分

場所 道の駅グランテラス筑西 インフォメーションセンター内



問 茨城県西部メディカルセンター
☎ 24-9111
HP <http://www.iwmo.or.jp>